

ネイチャーアクアリウム  
水景に  
すべてを  
捧げた男。

# 天野尚

Takashi Amano



2017.11.8<sup>WED</sup> - 2018.1.14<sup>SUN</sup>

東京ドームシティ Gallery AaMo

平日 12:00-17:00 土曜日 10:00-17:00

※年末年始の営業時間はGallery AaMoホームページをご確認ください ※最終入場は閉館の30分前まで。

主催 株式会社東京ドーム / 株式会社ドリームスタジオ

制作協力 株式会社アクアデザインアmano (ADA)

後援 読売新聞社

住所 東京都文京区後楽1-3-61 東京ドームシティクリスタルアベニュー沿い

アクセス JR・都営三田線「水道橋」駅 / 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園」駅 / 都営大江戸線「春日」駅下車

お問い合わせ先 東京ドームシティわくわくダイヤル TEL 03-5800-9999

<http://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/exhibition/amanotakashi/>

©2017 AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.

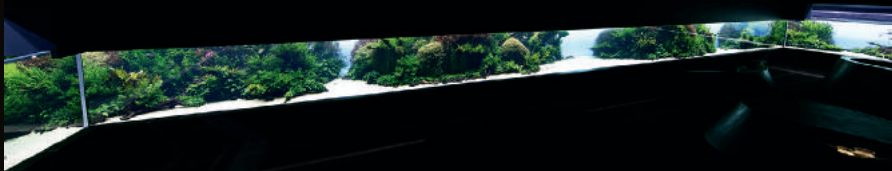
ネイチャーアクアリウム

# NATURE AQUARIUM 展





「天野自邸 4m水槽」 2007年10月撮影 (W400×D150×H150cm)



「水中の森 "Forests Underwater"」 リスボン海洋水族館 40m水槽 / 写真協力 Pedro A. Pina



「遙かな地平線」 1999年12月下旬撮影 アマゾン ネグロ川



「金剛杉屹立」 2007年5月中旬撮影 新潟県 佐渡市

### ネイチャーアクアリウムとは

水槽の中に自然の美しさや生態系の仕組みを再現したネイチャーアクアリウム。天野氏が自然から学び、創り出してきた数々の“水景”は、世界中で多くの人々を魅了してきました。その自然への思いと創造への情熱は、若い水景クリエイターたちに引き継がれています。

©2017 AQUA DESIGN AMANO CO., LTD.

## 特別水槽「巨大ネイチャー水草ウォール」を展示。

特別水槽として生前の天野氏が考案した「ネイチャー水草ウォール」を巨大サイズで制作。水中から水上に広がる圧倒的迫力の水草の世界をぜひ体感してください。

### EVENT

ビギナーズワークショップ開催 【開催日 2017年11月25日(土) / 2017年12月16日(土)】

水草と石や流木を用いたネイチャーアクアリウムの作り方を、ADAの水景クリエイターが実演を交えてわかりやすく解説。水草ビギナーの方にもオススメです。  
※ビギナーズワークショップ以外にも、トークショーなどイベント開催予定。詳細はGallery AaMoホームページにてお知らせいたします。



**Gallery AaMo**  
ギャラリーアーム  
TOKYO DOME CITY

### Gallery AaMo (ギャラリーアーム)

感動を生み出すエンターテインメント性とアートの融合による、“楽しさ”と“ライブ感”に満ちた大人のための“遊べるギャラリー”。最先端のメディアアートから工芸、サブカルチャーまで、様々なジャンルの催事を1~3ヶ月ごとに継続的に展開していきます。AaMoの「A」は「Art」「Amusement」の略、そして「aMo」は「and More」の意。新しい価値が創造され展開されるギャラリーであり、東京の新名所として認知されていく、という意味がこめられています。

### TICKET

【当日】大人 1,300円 / 中人(大学・高校生) 1,100円 / 小人(中学生以下) 800円  
【前売】大人 1,100円 / 中人(大学・高校生) 900円 / 小人(中学生以下) 600円

※料金は税込み。  
※未就学児無料。単独入場はご遠慮ください。※前売券は9月29日(金)各プレイガイドにて発売予定。

### ACCESS

JR・都営三田線「水道橋」駅 / 東京メトロ丸の内線・南北線「後樂園」駅 / 都営大江戸線「春日」駅下車  
東京都文京区後楽1-3-61 東京ドームシティクリスタルアベニュー沿い  
JR / Mita Line (SUIDOBASHI ST.) or Tokyo Metro Marunouchi Line / Namboku Line (KORAKUEN ST.) / Oedo Line (KASUGA ST.)  
1-3-61, Koraku, Bunkyo-ku, Tokyo, 112-8575, Japan Tokyo Dome City Crystal Avenue

### OFFICIAL SITE

<http://www.tokyo-dome.co.jp/aamo/exhibition/amanotakashi/>

【お問い合わせ先】  
東京ドームシティわくわくダイヤル  
TEL 03-5800-9999

# 「生きたアート展」

## 独自の自然観と水槽を融合した

Takashi Amano NATURE AQUARIUM Exhibition  
Combining his unique view of nature and aquariums, this exhibition is, in other words, a "living art exhibition".

本展覧会は“水景クリエイター世界のアマノ”として世界から愛された天野 尚氏にスポットを当て、同氏が生み出した自然の生態系を再現する水草水槽(ネイチャーアクアリウム)と、著名な写真家でもある同氏の大判写真作品を組み合わせ、独自の自然観と水槽を融合した「生きたアート展」です。会場には、本展のために製作された特別水槽「巨大ネイチャー水草ウォール」を含むネイチャーアクアリウム作品11点を展示。2008年7月開催のG8北海道洞爺湖サミットの会場に飾られた佐渡原始杉の超特大写真パネルなど、天野氏による超大判フィルムに撮影した最大8mの生態風景写真や水景写真をご覧ください。また、同氏が手掛けた世界一の人気を誇るリスボン海洋水族館収容の全長40mの巨大ネイチャーアクアリウム「水中の森」を映像で再現します。さらに、「世界水草レイアウトコンテスト」受賞作品写真の初展示や、ワークショップ、トークショーの実施など、天野氏ファンはもとより「美と驚き」を求める誰もが楽しめる新しい展覧会となります。

Takashi Amano worldly known as “The Master of Aquascaping” - This exhibition focuses on a series of his aquariums where he recreated natural ecosystems (“Nature Aquarium”) and Amano’s professional, large scale photographs. Combining his unique view of nature and aquariums, this exhibition is, in other words, a “living art exhibition”. In this event, 11 Nature Aquarium tanks, including a newly created special aquarium “Extensive Nature Aquatic Plants Wall”, will go on display. In addition, the exhibition will showcase Amano’s ecological photographs captured by large format cameras, such as the extra-large size photographic print of Primitive Japanese cedar trees in Sado, Japan which was introduced in the G8 Hokkaido Toyako Summit held in July 2008, and the maximum of 8-meter-wide photographs. It also reproduces a 40-meter-long Nature Aquarium “Florestas Submersas” in Oceanário de Lisboa, Portugal through film. The photographs of the winning works in the International Aquatic Plants Layout Contest will be exhibited for the first time, and workshop and live talk show will take place. Amano enthusiasts or anyone looking for “beauty and stunning experience” can enjoy this new kind of exhibition.

### 天野 尚 (あまの たかし)

1954年、新潟県新潟市に生まれる。写真家、水景クリエイター。2008年のG8北海道洞爺湖サミット会場に佐渡原始杉の特大写真パネルが展示されるなど、独自の生態風景写真は国内外で高く評価されている。また、豊富な自然経験をもとにネイチャーアクアリウムを確立し、水景クリエイターとしても世界で活躍してきた。2015年1月には、リスボン海洋水族館に世界最大のネイチャーアクアリウム(全長40m)を制作し世界の注目を集める。2015年8月永眠。

